

「さくら色・いろ」と「みんなのさくら写真募集」!

村内にあるサクラの木の種類や、ソメイヨシノの名付け親でもある高萩市出身の植物学者・松村任三氏について紹介する企画展を開催します。また企画展に関連し、サクラの写真を募集します。募集した写真は企画展で掲示します。応募者には記念品を差し上げますので、ぜひご応募ください。



▲ 村公式HP
はこちら

期間▼ 3月23日(土)～5月12日(日)※月曜日
(祝日の場合は翌平日)、5月6日(月・振休)
～9日(木)は休館となります。

時間▼ 午前9時～午後7時(土・日曜日、祝日は
午前9時～午後5時)

場所▼ 歴史と未来の交流館

入場料▼ 無料

その他▼ 新規収蔵品展「記憶のカケラ」を同時開催します。

問い合わせ▼ 生涯学習課博物館・文化財担当(歴史と未来
の交流館内 ☎287-0851)



【「みんなのさくら」写真 応募要項】

内容▼ 茨城県内のサクラを撮影したカラー写真
(印刷したもの(A4サイズ以内)またはデータ
(5MB以内))※人物や動物の写りこみは可です
が、人物が写っている場合は、必ず本人の了承
を得た上でご応募ください。

応募方法等▼ 2月15日(木)～4月21日(日)に、
メールまたは来館の上、ご応募ください。

▽メールの方は…村公式ホームページに掲載
の応募票に必要事項を記入し、メールに添
付の上、「みんなのさくら」写真募集事務局
(✉maruhaku@vill.tokai.ibaraki.jp)へご
送付ください。

▽来館の方は…生涯学習課備え付けの応募票
に、必要事項(氏名、写真のタイトル、撮影
場所、連絡先)を記入の上、ご提出ください。

村内等で行われた活動やイベントを紹介します **ず～むあっぷ! 「まちの風景」**



安 全・安心な明るい社会づくりに尽力 「法務大臣感謝状」が贈呈されました

令和5年12月27日、「法務大臣感謝状」が贈呈された東海村更生保護女性会の河野きよ子さん(舟石川駅東)が、村長へ報告に訪れました。非行や犯罪に陥ってしまった人たちが、再び社会の一員として、立ち直るのを助けようという「更生保護活動」において、長年にわたる社会貢献や顕著な功績が評価されたことから、今回、感謝状が贈呈された河野さん。「長年やってきたことが評価されてうれしいです。今後も活動を継続し、皆さんが安全に、安心して暮らせる明るい地域社会の実現に向けて、尽力していきたいと思えます」と話しました。



1 年の安寧を願い、防災強化を誓って 令和6年「東海村消防出初式」

1月7日、東海文化センターで、令和6年「東海村消防出初式」が行われ、東海村消防団(団長：根本一成さん、団員：137人)や東海消防署、原子力事業所、自主防災組織等の消防・防災関係者約210人が参加しました。式では、消防団員への表彰等が行われ長年の貢献がたたえられたほか、関係者や消防車両が整然と並ぶ中、山田村長や根本団長、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部の打越哲也次長による観閲が行われ、参加者は地域防災力強化への決意を新たにしました。また、9月に行われた「第74回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会」で準優勝した第6分団による小型ポンプ操法や、茨城県防災ヘリコプターの飛行展示が披露されました。

【写真左から】三浦悠音さん、照沼遥翔さん、町田光輝明さん



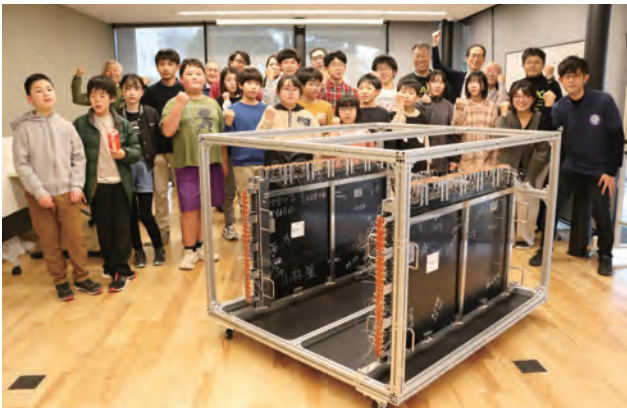
「野球しようぜ!」のメッセージと共に 大谷翔平選手から小学校へグローブが寄贈されました

1月16日、村内全小学校で、大谷翔平選手から寄贈されたグローブのお披露目が行われました。大谷選手のグローブは、学校の規模に関係なく、全国の小学校に3個ずつ贈られたもの。石神小学校では、大谷選手のプロフィールを紹介した後、菊地義光校長が「みんなに夢や希望をもってもらうためのグローブです」と大谷選手からの気持ちを伝え、6年生の代表児童3人へグローブを手渡しました。始球式としてキャッチボールを行なった代表の3人は、グローブを手に「大谷選手になったみたい」、「球の速いピッチャーになりたい」、「柔らかくて使いやすいかった」など、笑顔で感想を話しました。



花壇作りを通じて地域への愛着を育む 石神小前のふれあい花壇が「花いっぱい運動」認定花壇に

令和5年12月14日、石神小学校前のふれあい花壇が、「令和5年度花いっぱい運動定着化促進事業」の認定花壇として、認定証の交付を受けました。地域の環境美化について、地域・学校・PTAが子どもたちとの“ふれあいの輪”をもって取り組んでいることや、長年にわたる意欲と熱意の継続が評価され、今回で3度目の認定となった同花壇。青少年育成東海村民会議石神支部の花壇実行委員・福地正文さんは、「地域の癒しの花壇として、皆さんと一緒にたくさんの花を咲かせてきた事を誇らしく感じました。今後もこの活動を継続していきたいです」と話しました。



巨大古墳の謎に迫る「宇宙線ミュオン」の測定器が完成間近! 「宇宙線ミュオンで古墳を透視プロジェクト」

1月21日、歴史と未来の交流館で、村内外の小中高生17人が、古墳を透視する宇宙線ミュオンの測定器を組み立てました。昨年4月にスタートした本企画は、東海村、J-PARCセンター、茨城大学、東京都立大学が連携し、物理学と考古学の専門家の指導の下、子どもたちが測定器を一から手作りし、古墳の透視に挑戦するものです。宇宙線や古墳について学ぶ講座のほか、J-PARC施設や古墳の見学を経て、昨年11月から測定器作りに着手した子どもたち。制作中の測定器は、来年度、東海中学校に隣接する舟塚古墳群2号墳に設置し、古墳の透視を開始する予定です。東海村が誇る科学の力で、巨大古墳の謎に挑む子どもたちの活躍にご期待ください。

【写真左から】塙さん、高橋さん、山田村長、川崎さん



東海美術連盟会員が絵画展で受賞 第95回「新構造展」・第4回「全国カルチャー芸術展」

令和5年12月22日、第95回「新構造展」で内閣総理大臣賞を受賞した高橋忠治さん(石神内宿)と同展で特別賞(徳山賞)を受賞した塙千恵子さん(大山台)、第4回「全国カルチャー芸術展」で大賞を受賞した川崎志保さん(白方)が、東海美術連盟理事長の棚井哲雄さんと共に村長へ報告に訪れました。高橋さんは「今後も自分の考えが表現される・見えてくるような作品を創作したいです」と意気込みを語り、塙さんは「賞を取ることは大変難しいですが、今回徳山賞をいただけて光栄です」と笑顔で話しました。また、川崎さんは「日本画は描くのが難しい分、完成したときの達成感が大きいです。引き続き創作活動に励みたいです」と話しました。